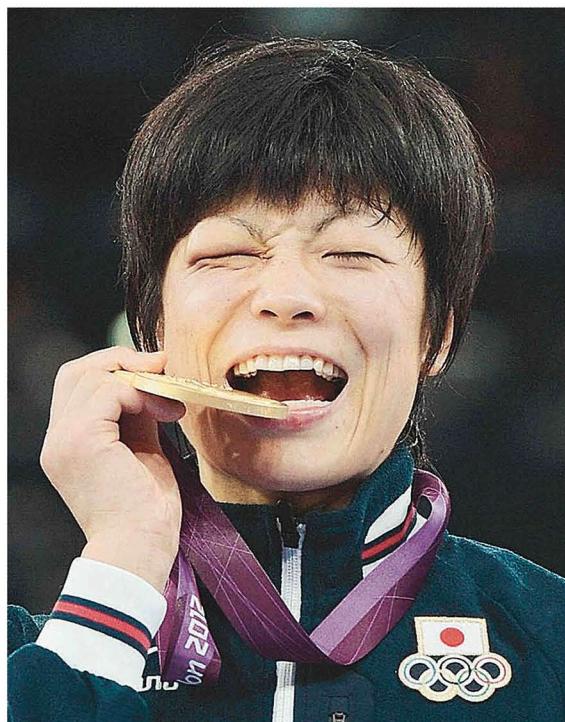


レスリング 2階級「金」

伊調 V3

日本女子初

初出場小原も頂点



女子48kg級で獲得した金メダルをかじってみせる小原日登美=エクセル(共同)



女子63kg級で獲得した金メダルと花束を手に笑顔を見せる伊調馨=エクセル(共同)

応援を力にして戦った

小原日登美の話 信じられない。

わたし一人ではこの金メダルは取れなかった。応援が力に変わって、マットでも一人じゃないと最後まで戦えた。今まで支えてくれたみんなの顔が頭に浮かんだ。本当にうれしい。

北京大会を制したキヤロル・ハイン(カナダ)、決勝では北京銅メダリストのマリア・スタドニク(アゼルバイジャン)を撃破した。初出場の小原は準決勝で

世界一を決める大舞台で「10大会全勝」とした。

北京の両大会に続く金メダルとなつた伊調は、決勝で柔道男子60kg級の野村忠宏(ミキハウス)に続き2人目で、女子では初の快挙。日本勢の個人種目3連覇は柔道男子60kg級の野村忠宏(ミキハウス)に続き2人目で、女子では初の快挙。出場した7度の世界選手権に3度目の五輪を加えて、

偉業達成できうれしい

伊調馨の話(3連覇は)

そこを目指してやってきたわけじゃないが、終わってみて、偉業を達成できたのはうれしい。やりたいことをもう少し出せたら良かった。悔しい部分もある。でもタックルでポイントを取れたのは良かった。

2004年アテネ、前回

北京の両大会に続く金メダルとなつた伊調は、決勝で柔道男子60kg級の野村忠宏(ミキハウス)に続き2人目で、女子では初の快挙。日本勢の個人種目3連覇は柔道男子60kg級の野村忠宏(ミキハウス)に続き2人目で、女子では初の快挙。出場した7度の世界選手権に3度目の五輪を加えて、



天才レスラー三つ目「金」

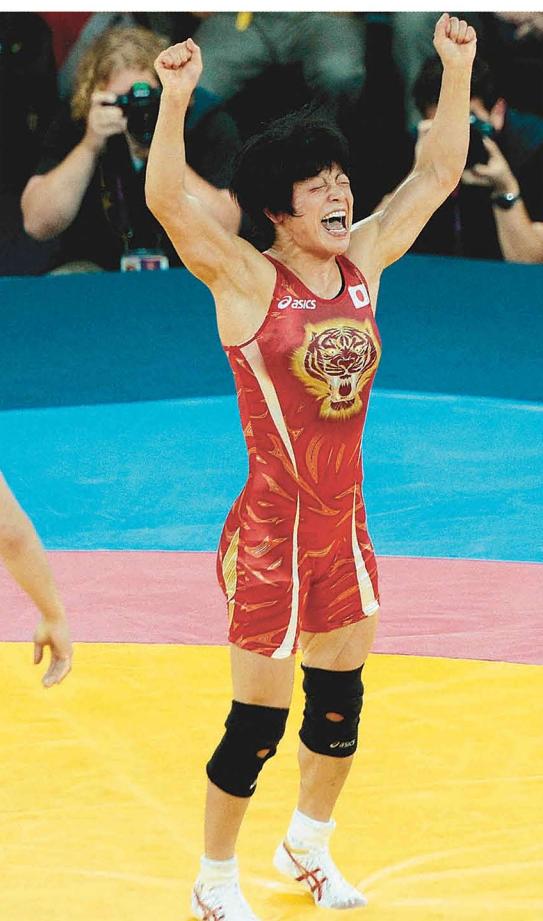
伊調 男子に交じつて鍛え、成長

3度目の五輪はこれまでと違った。過去2度出場し、48kg級の姉、千春さん(30)がやめると聞いて、「私も」と言った北京五輪から4年。伊調は精神的に自立して、三つ目の金メダルを手に入れた。

天才レスラーに競技への探求心が芽生えた。「新しくじって鍛え直した。慣れる

と、感覚でこなしていたことが理論的に分かるようになった。ノートは効率的な攻め方や技の図解できつてしまい。千春さんは「あんな樂い」と笑った。

負けがでの不戦敗を除けば、2003年の国際大会を最後に負けがない。生来のセンスに努力も加わり、柔道女子の谷亮子もなしえなかつた五輪3連覇を成し遂げた。(共同)



【女子48kg級決勝】アゼルバイジャン選手を破り、万歳して喜ぶ小原日登美=エクセル(共同)

【ロンドン共同】ロンドン五輪第13日の8日、陸上の男子200m準決勝は、100mを制したウサイン・ボルト(ジャマイカ)が20秒18で順当に決勝進出。高平慎士(高瀬慧とともに富士通)は決勝に進めなかった。男子やり投げ予選には英富人の父を持つディーン元

やり投げ デイーん、決勝進出
気(早大)が出場、2投目には82メートル7を記録し、決勝進出を決めた。2009年世界選手権3位の村上幸史(スズキ浜松AC)は77メートルで落選が決まった。また、十種競技では、この種目の日本選手で48年ぶり出場の右代啓祐(スズキ浜松AC)が1日目の競技。

小原、諦めずに夢実現

何度も諦めかけた夢を成就した。小原が、ようやく踏んだマットで躍動した。48kg級で五輪代表になれずに引退した妹の真喜子さん(26)から引き継いだバトンを頂点へ、2010年に結婚した夫の康司さん(30)に支えられ、運びきった。

五輪で行われない51kg級で活躍したものの、一度は引退。大舞台を目指して48kg級で復帰した当初はスピードに戸惑いもあった。3kg落とす減量の過酷さにも苦しんだ。

完璧主義者で不安に陥りやすい小原を、高校のレスリング部で1年後輩だった康司さんが支えた。毎日のようにスパーリングを撮影し、修正点を話し合った。「レスリング人生の集大成として、みんなに恩返しができるような試合をしてみんなで金メダルを見事な有言実行だった。(共同)

